

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 19 日 (2020.11.19)

【公開番号】特開 2019-115444 (P2019-115444A)

【公開日】令和 1 年 7 月 18 日 (2019.7.18)

【年通号数】公開・登録公報 2019-028

【出願番号】特願 2017-250503 (P2017-250503)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 2 日 (2020.10.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を実行可能な遊技機であって、
遊技の進行を制御する遊技制御手段と、
遊技の進行に応じた演出を実行可能な演出実行手段と、
 複数種類の動作を検知可能な検知手段と、
 可変表示の実行中に複数種類の演出に関する設定が可能であり、検知した動作の種類に
 対応した演出に関する設定が可能な演出設定手段と、
 を備え、

前記演出実行手段は、遊技者にとって有利な内容を示唆する示唆演出を実行可能である
とともに、演出に関する所定条件の成立にもとづく所定制限が実行中であることを報知す
るための制限表示を、複数の異なる表示態様にて表示可能であり、

前記制限表示の表示態様によって前記示唆演出が実行される割合が異なり、
所定条件が成立しているときに、複数種類の演出に関する設定のうちの特定種類の演出
に関する設定が制限される一方、該特定種類の演出の設定と異なる種類の設定については
制限されない、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(A) 可変表示を実行可能な遊技機であって、
遊技の進行を制御する遊技制御手段と、
遊技の進行に応じた演出を実行可能な演出実行手段と、
複数種類の動作を検知可能な検知手段と、
可変表示の実行中に複数種類の演出に関する設定が可能であり、検知した動作の種類に
対応した演出に関する設定が可能な演出設定手段と、
を備え、

前記演出実行手段は、遊技者にとって有利な内容を示唆する示唆演出を実行可能であるとともに、演出に関する所定条件の成立にもとづく所定制限が実行中であることを報知するための制限表示を、複数の異なる表示態様にて表示可能であり、

前記制限表示の表示態様によって前記示唆演出が実行される割合が異なり、

所定条件が成立しているときに、複数種類の演出に関する設定のうちの特定種類の演出に関する設定が制限される一方、該特定種類の演出の設定と異なる種類の設定については制限されない、

ことを特徴とする。

前記課題を解決するために、本発明の手段 1 に記載の遊技機は、

可変表示を実行可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、

複数種類の動作を検知可能な検知手段（例えば、スティックコントローラ 31A）と、

可変表示の実行中に複数種類の演出に関する設定（例えば、演出モードの変更やスピーカ 8L、8R から出力される音の音量の変更）が可能であり、検知した動作の種類に対応した演出に関する設定が可能な演出設定手段（例えば、演出制御用 CPU 120 が図 10 - 17 に示す演出モード変更処理や図 10 - 21 に示す音量変更処理を実行する部分）と、

を備え、

所定条件が成立しているときには、複数種類の演出に関する設定のうちの特定種類の演出に関する設定が制限される一方、該特定種類の演出の設定とは異なる種類の設定については制限されない（例えば、図 10 - 22 に示すように、先読予告演出の実行が決定された場合やスーパーリーチの変動表示中は、該先読予告演出の対象変動表示が終了するまで、または、スーパーリーチの変動表示が終了するまで演出モードの変更が不可能となる一方で、音量の変更は常に実行可能である部分）

ことを特徴としている。

この特徴によれば、複数種類の演出設定について、無用な制限がされてしまうことのない適切な制御を行うことができる。